

世界銀行東京事務所Eニュース



【世界銀行東京事務所 Eニュース 718号】十六銀行がサステナブル・ディベロップメント・ボンドに投資、世界銀行グループ職員募集、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第718号 2020年10月30日 発行



世界銀行グループ職員募集

十六銀行がサステナブル・ディベロップメント・ボンドに投資

10月23日、世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行（IBRD）、Aaa/AAA）が発行する債券「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」に、SDG17（パートナーシップで目標を達成しよう）をはじめ、様々なSDGsの推進に取り組む株式会社十六銀行が5,000万ドル（約52億円）の投資を行いました。本債券への投資は、世界銀行の開発プロジェクトを支える資金ニーズに大きく貢献します。

十六銀行ニュースリリース：<http://ow.ly/RgRx30rhsTj> (PDF)

JPO（気候変動）ポジション追加募集

世界銀行は、ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）ポジションの追加募集を開始しました。気候変動を担当する部署に所属し、パリ協定や長期的な低炭素都市計画に沿ったクライアント国の気候変動緩和策に貢献する気候変動関連の分析や助言を担当します。環境・気候変動などの関連修士号および2年以上の関連分野における経験必須です。詳しくは、以下のリンクをご覧ください。

募集締切：2020年11月24日（火）正午（日本時間）

詳細・応募：<http://wrlld.bg/os4130rhEvk>

貧困・平等グローバルプラクティス エコノミスト募集

経済学、公共政策学、統計学、またはその他の関連分野での修士号を有し（博士号が有利）、関連分野における専門的な職務経験を5年以上お持ちの、優れた分析力と判断力を持つマクロエコノミストを募集しています。本ポストは通常の空席ポストの募集となります。詳しくは、以下のリンクをご覧ください。

募集締切：2020年11月6日（金）午後11時59分（UTC）

詳細・応募：<http://wrlld.bg/8ssC30rhFrP>

セミナーのお知らせ

大きく成長させる（Making It Big）：なぜ途上国は、より大きな企業が必要なのか

世界銀行セミナー

日時：2020年11月5日（木）午後5時～午後6時

内容：新報告書「大きく成長させる：なぜ途上国は、より大きな企業が必要なのか」

（Making It Big: Why Developing Countries Need More Large Firms）の共著者であるアレキサンドロス・ラゴシウス世界銀行グループ国際金融公社（IFC）エコノミストが、同報告書

の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付: <http://wrlld.bg/Saas30rhFXE>

アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2020年10月版—復興への道筋 世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第29回

日時: 2020年11月6日 (金) 午前8時～午前9時

内容: 「アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2020年10月版—復興への道筋」(Africa's Pulse: Charting the Road to Recovery) の執筆を主導したセザール・カルデロン世界銀行アフリカ地域担当チーフエコノミスト室リードエコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご説明します。

詳細・事前ご質問受付: <http://wrlld.bg/GHPO30rhFmf>

世界銀行財務局で働く～玉田慎也・世界銀行財務局上級財務担当官、藤本千尋・財務担当官 キャリアセミナー

日時: 11月12日 (木) 午前8時～午前9時

内容: 玉田慎也・世界銀行財務局上級財務担当官および藤本千尋・財務担当官が、世界銀行財務局の概要と役割、自身のキャリアパスとこれまでどのような業務に従事してきたかについてお話しします。また、世界銀行財務局の新たな2つのプログラム、ファイナンス・インターンシップとジュニアアナリストについてご紹介します。

詳細・お申込み: <http://wrlld.bg/Fquk30rhGkn>

国際開発金融機関 (MDBs) で働く キャリアセミナー

日時: 2020年12月4日 (金) 午後6時～午後7時30分

内容: 津田塾大学創設120周年記念にあたり同大学が主催校となって開催される第31回国際開発学会全国大会 (2020年12月5～6日) のプレイベントとして、新型コロナウイルス感染症拡大危機での厳しい条件の中での業務を含め、キャリア経験談をオンラインでご紹介します。国際協力分野でのキャリアを志望する中高生・学部生・大学院生、若手プロフェッショナルはじめ、どなたでもご参加いただけます。

詳細・お申込み: <http://wrlld.bg/o7ag30rhFXM>

IFCキャリアセミナー

日時：2020年12月9日（水）午後8時～午後9時30分

内容：2018年にIFCに入社し、ワシントンDC本部に勤務する中野ちえみエコノミストが、自身の経歴やIFCの活動、セクター経済開発効果部門での業務について、オンラインでお話しします。

詳細・お申込み：<http://wrlid.bg/yHJ930rhFXL>

主なニュース

ブラジル：「ボルサ・ファミリア」プロジェクト拡大で貧困層を支援

世界銀行理事会は10月29日、新型コロナウイルス感染症の世界的流行がもたらす経済への悪影響を緩和する取組みの一環として、ブラジルの貧困層を支援するための10億ドル支援を承認しました。このプロジェクトにより、条件付き現金給付プログラムが拡張され、99万人の子供と若者や、7,000人の先住民族を含む300万人以上が受益します。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/35ZA30rhFLD>（英語）

ネパール：農業セクターを支える農村部の企業と経済開発のためのプロジェクト

世界銀行は10月28日ネパールの農業セクターを強化を目的とした8,000万ドルのプロジェクトを承認しました。同プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の危機からの回復に向けた雇用を創出するとともに、農村市場の連携強化と起業精神の向上を図り、同国の農業セクターを後押しします。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/W8wX30rhFMj>（英語）

ソマリア：社会的保護の措置を拡大

世界銀行ソマリア経済アップデートの最新版では、同国の経済成長は大幅に縮小するが、2022年までに新型コロナウイルス感染症発生前の3.2%に回復すると予測され、中期的な回

復を支援するためには、発生期にある中小企業に対し流動性と貿易金融を含む緊急融資を提供し、雇用と収入の保守を検討する必要があると指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/XFhv30rhFMk>（英語）

ウズベキスタン：イノベーションシステムの近代化を促進

世界銀行の理事会は10月28日、ウズベキスタンにおけるイノベーションシステムの近代化を支援する5,000万ドルの資金調達パッケージを承認しました。同国は、新型コロナウイルス感染症後の回復に向けた経済成長の推進力としてイノベーションを促進しており、本プロジェクトは政府による市場型イノベーションシステム開発に貢献します。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/OERO30rhFMn>（英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。



[世界銀行東京事務所](#)

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695

[世界銀行東京事務所フェイスブック](#)

[世界銀行東京事務所ツイッター](#)

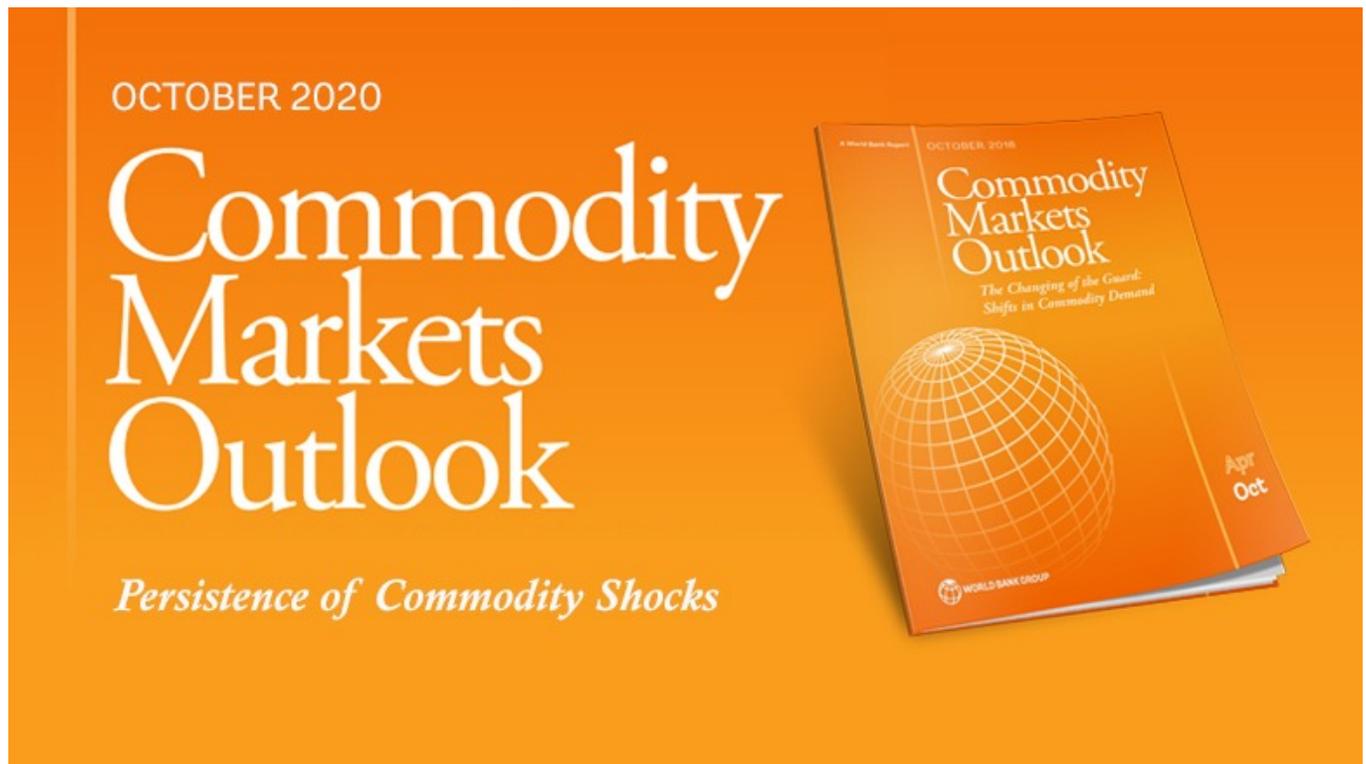
[世界銀行東京事務所インスタグラム](#)

世界銀行東京事務所Eニュース



【世界銀行東京事務所 Eニュース 717号】「一次産品市場の見通し」2020年10月版発表、第102回世界銀行・IMF合同開発委員会コミュニケ、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第717号 2020年10月23日 発行



「一次産品市場の見通し」2020年10月版発表

「一次産品市場の見通し」2020年10月版発表

世界銀行は10月22日に発表した「一次産品市場の見通し」の2020年10月版の中で、金属と農産物は新型コロナウイルス感染症の世界的流行による損失を取り戻し、2021年にはわずかながら価格上昇が期待できる一方で、エネルギー価格については幾分回復するものの、来年も感染症流行以前のレベルには届かないまま推移する、との見通しを示しました。原油価格は、2020年のバレル当たり推定平均41ドルから2021年は44ドルに上昇すると予測されています。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/ogVS30rgpeF>

第102回世界銀行・IMF合同開発委員会コミュニケ

10月16日、テレビ会議形式で開発委員会が開催され、開発の諸問題について世界銀行と国際通貨基金（IMF）に勧告が行われました。委員会は、世銀グループによる新型コロナウイルス感染症対応を称賛するとともに、世界銀行グループとIMFに対し、この世界的な危機において、引き続き、加盟国、公的及び民間部門、地域及び二国間の開発パートナー、並びに、国際連合を含む国際機関と協力することを求めました。

英語：<http://wrlid.bg/RriW30rgpea>

日本語（ポイント、財務省）：<http://ow.ly/FMG930rgpee> (PDF)

日本生命がサステナブル・ディベロップメント・ボンドに投資

世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD、ムーディーズ：Aaa、スタンダード&プアーズ：AAA）はこの度、期間15年、総額1億5,000万豪ドルのサステナブル・ディベロップメント・ボンドを発行し、世界銀行の栄養不良問題への取組みに賛同した日本生命保険相互会社が全額を購入しました。本件は、人的資本蓄積のための栄養改善の重要性を債券発行と同時に発信する初めての取組みとなります。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/2eeM30rgpe3>

食料の損失・廃棄の削減が、食料安全保障と環境保護に大きく 貢献する可能性

新型コロナウイルス感染症が流行する以前から、年間生産高全体の3分の1の食料が、輸送、加工の段階で失われるか、小売・消費レベルで廃棄されていました。世界銀行が9月28日に発表した新報告書「食料の損失・廃棄への取組み：地域独自の施策でグローバルな問題に立ち向かう（仮題）」では、食料の損失や廃棄の削減を進めるための投資は、食料安全保障

と環境の持続可能性という2大緊急課題の解決に大きく貢献する可能性がある」と指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/6JT030rgrlU>

関連イベント「食品の損失と廃棄：地球規模の課題と地域の解決策」

9月29日の「食料のロスと廃棄に関する啓発の国際デー」に、デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁とその他の講演者が、食品の損失と廃棄（FLW）に関する前向きな取組みに向けた具体的な解決策について議論しました。以下リンクより録画をご覧ください。

イベントページ（日本語）：<http://wrlld.bg/l7lG30rgpe7>

セミナーのお知らせ

ラテンアメリカ・カリブ海地域経済報告：健康を維持するためのコスト 世界銀行モーニングセミナー（第82回）

日時：2020年10月30日（金）午前8時～午前9時

内容：10月9日発表の「ラテンアメリカ・カリブ海地域経済報告：健康を維持するためのコスト」（Semiannual Report of the Latin America and the Caribbean Region: The Cost of Staying Healthy）をとりまとめたマーティン・ラマ世界銀行ラテンアメリカ・カリブ海地域担当チーフエコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付：<http://wrlld.bg/NpHu30rf1e5>

主なニュース

6人に1人の子供が極度の貧困状態

世界銀行グループと国連児童基金（UNICEF）が行なった新たな分析では、世界で推定3億5,600万人（6人に1人）の子供が、新型コロナウイルス感染症の世界的流行前の時点で極度の貧困の中で暮らしており、今後更に悪化する可能性があるとしています。各国政府はこれまで以上に、社会的保護システムを強化し、将来起こりうるショックに備えることが重要です。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/AqyP30rgqvZ>（英語）

在宅勤務とICTインフラの各国比較

世界における在宅勤務について調査したワーキングペーパーによると、在宅勤務が可能な就労者は、低所得国では雇用人口の26分の1という結果となり、高所得国の3分の1と大きな差が生じていました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、世界中の労働市場に深刻な影響を与えると予想されており、政策立案者は地域の状況に合わせ、最も打撃を受けた労働者に的を絞って政策を打ち出す必要があります。

特集：<http://wrlid.bg/hONM30rgqw2>（英語）

失業による社会的影響を緩和するための政策とは

新型コロナウイルス感染症の影響により失業率は急激に上昇しており、インフォーマルセクターに従事する労働者は、特に大きな打撃を受ける可能性があります。失業が及ぼす消費、健康、死亡率への悪影響を考慮した詳細な行動計画を作成し、慎重な政策を講じることで、失業による社会的コストの軽減や、生産的な再雇用を可能にし、職を失った労働者の支援につなげることができます。

特集：<http://wrlid.bg/6xxQ30rgqw4>（英語）

1兆2,000億ドルに相当する「食料の損失・廃棄」に関する課題解決を探る

世界では、生産された全食料の30～40%が損失または廃棄されており、世界銀行をはじめとした多くの組織が、食品廃棄物を3分の1削減するという目標を掲げています。新型コロナウイルス感染症が与えた食品の損失と廃棄物（FLW）問題への影響や、問題解決に向けたアプローチ、世界銀行が行っている支援など、質疑応答形式をご覧ください。

特集：<http://wrlid.bg/F5r830rgqw6>（英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。



[世界銀行東京事務所](#)

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695

[世界銀行東京事務所フェイスブック](#)

[世界銀行東京事務所ツイッター](#)

[世界銀行東京事務所インスタグラム](#)

世界銀行東京事務所Eニュース



【世界銀行東京事務所 Eニュース 716号】後発開発途上国の債務負担が過去最高の7,440億ドルに、新型コロナウイルス感染症のワクチンに120億ドルの支援を承認、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第716号 2020年10月16日 発行



10月17日（土）午後11時（日本時間）より世界銀行ライブ配信：貧困撲滅のための国際デー2020～困難を乗り越える

後発開発途上国の債務負担がさらに拡大、2019年は過去最高の7,440億ドルに

世界銀行は10月12日、「国際債務統計（IDS）」の最新版を発表し、債務支払猶予イニシアティブ（DSSI）適格国の対外債務総額が、2019年は前年比9.5%増の7,440億ドルとなり、過去最高額を記録したことを明らかにしました。また同報告書は、新型コロナウイルス感染

症の世界的流行によってソブリン債務危機のリスクが高まっており、このリスクを回避するためには、債権者と借入国が協力し合うことが急務であると強調しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/sZhz30rf1ec>

世界銀行、新型コロナウイルス感染症のワクチンに120億ドルの支援を承認

世界銀行理事会は10月13日、途上国が国民を対象に行う新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの調達と配布、検査、治療について120億ドルの支援を承認しました。今回の支援は2021年6月までに全体として最大で1,600億ドルを支援する世界銀行グループのパッケージの一環であり、最大で10億人のワクチン接種を目指します。世銀グループで民間セクターへの支援を行う国際金融公社（IFC）もまた、40億ドルのグローバル・ヘルス・プラットフォームを通じて、ワクチンの製造を支援しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/rEfD30rf1ed>

ラテンアメリカ・カリブ海地域：半期経済報告書2020年10月版発表

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、ベネズエラを除くラテンアメリカ・カリブ海地域では、国内総生産（GDP）成長率が2020年はマイナス7.9%まで低下し、2021年には4.0%に回復するとみられています。また、人々を保護しながら域内経済を成長軌道に戻すためには、公衆衛生上の措置と経済運営を組み合わせる必要があると指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/Bfhr30rf1ej>

2020年IMF・世界銀行グループ年次総会：ライブ配信のお知らせ

2020年IMF・世界銀行グループ年次総会が10月12日から18日まで、バーチャル形式で開催されています。期間中、ライブでご参加いただけるセッションを配信しておりますので、是非ご視聴ください。各分野の専門家に対する質問も、オンラインで受け付けています。

ライブ配信一覧: <http://wrlld.bg/Gews30re2Qs> (英語)

<スケジュール>

デジタル・ディバイドの解消

デジタルアクセスを加速し、手頃な価格の信頼できるデジタル接続をすべての人に提供するための具体的な方法について議論します。

10月16日 (金) 午後11時 (日本時間) より

ライブの視聴、ご質問はこちら: <http://wrlld.bg/iuvt30rdUSq> (英語)

貧困撲滅のための国際デー2020 ~ 困難を乗り越える

10月7日発表の報告書「貧困と繁栄の共有」を踏まえ、新型コロナウイルス感染症危機からの強靱な回復に向けた貧困問題を検証します。

10月17日 (土) 午後11時 (日本時間) より

ライブの視聴、ご質問はこちら: <http://wrlld.bg/Cyco30rdUSA> (英語)

セミナーのお知らせ

南アジア経済報告 (SAEF) : 敗北か破壊か? - インフォーマル性と新型コロナウイルス感染症

世界銀行モーニングセミナー (第81回)

日時: 2020年10月23日 (金) 午前8時~午前9時

内容: 10月8日発表の「南アジア経済報告 (SAEF) : 敗北か破壊か?」 (South Asia

Economic Focus: Beaten or Broken? - Informality and COVID-19) の執筆を担当したシッター・シャルマ世界銀行南アジア地域担当チーフエコノミスト室上級エコノミストとヴァレリエ・マーサー=ブラックマン同上級エコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付: <http://wrlld.bg/6CQc30re3al>

ラテンアメリカ・カリブ海地域経済報告：健康を維持するためのコスト 世界銀行モーニングセミナー（第82回）

日時：2020年10月30日（金）午前8時～午前9時

内容：10月9日発表の「ラテンアメリカ・カリブ海地域経済報告：健康を維持するためのコスト」（Semiannual Report of the Latin America and the Caribbean Region: The Cost of Staying Healthy）をとりまとめたマーティン・ラマ世界銀行ラテンアメリカ・カリブ海地域担当チーフエコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付：<http://wrlld.bg/NpHu30rf1e5>

主なニュース

SDG2「飢餓をゼロに」の達成に向けたGAFSPへの資金提供

世界農業食料安全保障プログラム（GAFSP）における2020～25年の増資期間が開始され、オーストラリア、ビル&メリンダゲイツ財団、ドイツ、ノルウェー、スペインは、3億ドルを超えるGAFSPへの新たな拠出を発表しました。世界銀行グループはパートナーと協力して、新型コロナウイルス感染症による流行下および危機後において、持続可能な方法で、適切、安全、そして手頃な価格の栄養価の高い食品の提供を可能とするフードシステムを構築します。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/ELcy30rfeBy>（英語）

ハイチ：デジタル接続の向上で強靱性を構築

世界銀行理事会は10月9日、ハイチにおけるデジタル化の加速を目的とした6,000万ドルのグラントを承認しました。国際開発協会（IDA）を通じた本プロジェクトは、同国のブロードバンドへのアクセスを増強することにより、保健、気候変動、経済的ショックに対応するためのデジタル接続における強靱性の基盤を確立し、全国民の生活向上が期待されます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/TkFZ30rfeBB>（英語）

ケニア：インフォーマルな居住地に雇用を創出する衛生プロジェクト

ケニア政府は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得者を支援するため、全国衛生プログラムを立ち上げました。2020年4月29日から6月2日まで実施されたプログラムの第一段階では、世界銀行のインフォーマルな居住地改善プロジェクトの支援により、2万6,000以上の雇用が創出されました。

特集: <http://wrlid.bg/vZKe30rfeBK> (英語)

コスタリカ：森林の未来とジェンダーバランス

コスタリカの女性は、森林資源や農業システムの持続可能な管理に積極的に従事していますが、女性は男性よりも所有する土地や農場が小規模で、経済的支援も少なく、同国の環境サービスに対する支払い制度（PES）への参加も僅かです。環境や、森林、気候変動に関する仕事に、男女それぞれが貢献する方法をよりよく認識し、促進し、評価するための協調的な取り組みについて、特集記事をご覧ください。

特集: <http://wrlid.bg/We8N30rfeBO> (英語)

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。



[世界銀行東京事務所](#)

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695

[世界銀行東京事務所フェイスブック](#)

[世界銀行東京事務所ツイッター](#)

[世界銀行東京事務所インスタグラム](#)

世界銀行東京事務所Eニュース



【世界銀行東京事務所 Eニュース 715号】IMF・世界銀行グループ年次総会に向けた総裁スピーチ、報告書「貧困と繁栄の共有」、半期地域経済報告2020年10月版発表、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第715号 2020年10月9日 発行



2020年IMF・世界銀行グループ年次総会

IMF・世界銀行グループ年次総会に向けた世界銀行総裁スピーチ「格差のパンデミックを逆転させるために」

デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁は10月5日、フランクフルト金融経営大学においてIMF・世界銀行グループ年次総会に向けたスピーチを行いました。新型コロナウイルス感染症への対応の中で特に緊急性の高いテーマとして、貧困と格差、人的資本の喪失、債務負担、包摂的で強靱な回復を挙げ、貧困、格差、人的資本、債務削減、気候変動、経済の適応性への対応が急務であることを強調しました。

スピーチ全文: <http://wrlid.bg/Nlru30re2KS>

録画: <http://wrlid.bg/ZLq630re2Se> (英語)

新型コロナウイルス感染症により2021年までに極度の貧困層が最大1億5,000万人増加

世界銀行が隔年で発行している報告書「貧困と繁栄の共有」の最新版では、これまで鈍化傾向にあった貧困削減のペースが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行でさらに減速したことにより、2020年には新たに8,800万人から1億1,500万人が極度の貧困に陥ると予測しています。また同報告書は、2020年の世界人口に占める極度の貧困層（1日1.90ドル未満で生活する人々）の割合を9.1~9.4%と予測しています。これは2017年の水準（9.2%）に逆戻りすることを意味しています。

プレスリリース: <http://wrlid.bg/Fe0m30rdHoC>

半期地域経済報告2020年10月版発表

東アジア・大洋州地域

2020年の経済成長率は、1967年以来最低の0.9%まで落ち込むと予想され、域内諸国の経済成長率は3.5%低下する、としています。

プレスリリース: <http://wrlid.bg/oHs630re2PM>

ヨーロッパ・中央アジア地域

新興国・途上国の成長率が2020年はマイナス4.4%となる見通しを明らかにしました。成長率は2021年には改善し、1.1~3.3%の範囲に収まる見込みです。

プレスリリース: <http://wrlid.bg/Ve0R30re2PN>

南アジア地域

過去5年間にわたり年6%のペースで成長していましたが、2020年の域内成長率はマイナス7.7%となる見通しです。南アジア地域最大の経済規模であるインドの成長率は、2020年度（2020年4月~2021年3月）はマイナス9.6%と予測されています。また、南アジア地域全体の成長率は2021年には持ち直し、4.5%となる見通しです。

プレスリリース: <http://wrlid.bg/JMxK30re2PQ>

サブサハラ・アフリカ地域

2020年の成長率はマイナス3.3%に低下し、25年ぶりに景気後退局面に入るとの予測を示しました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、アフリカ地域では2020年に最大4,000万人が極度の貧困に陥り、少なくとも過去5年間に達成された貧困との戦いの成果が後退する可能性があります。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/GUOm30re2PA>

世界銀行、IFC、MIGA、2020年度年次報告書発表

世界銀行、国際金融公社（IFC）、多数国間投資保証機関（MIGA）の2020年度の年次報告書が刊行されました。世界銀行は、新型コロナウイルス感染症への対応として2021年6月までに最大1,600億ドルを支援し、影響の軽減と長期的な成長を促進します。また、IFCは投資家から動員された108億ドルを含む220億ドルを投資し、多数国間投資保証機関（MIGA）は40億ドル近くの新たな保証を発行して合計70億ドルを超える資金調達を支援しました。各報告書は下記リンクよりご覧ください。

< 2020年度年次報告書ウェブサイト >

世界銀行：<http://wrlld.bg/Y26A30rdkzQ>（英語）

IFC：<http://wrlld.bg/Ar6930rdGXj>（英語）

MIGA：<http://wrlld.bg/CbEA30rdkzU>（英語）

2020年IMF・世界銀行グループ年次総会：ライブ配信情報

2020年IMF・世界銀行グループ年次総会は10月12日から18日まで、新型コロナウイルス感染症の世界的流行からの強靱な回復をテーマに、バーチャル形式で開催されます。期間中、ライブでご参加いただけるセッションを配信しますので、是非ご視聴ください。各分野の専門家に対する質問も、随時オンラインで受け付けています。

ライブ配信一覧：<http://wrlld.bg/Gews30re2Qs>（英語）

< スケジュール >

債務の緩和に向けた包括的な解決策

政府、民間債権者、債務再編の専門家が、債務再編プロセスを強化するための協調的な取り組みと解決策について議論します。

10月14日（水）午前1時（日本時間）より

ライブの視聴、ご質問はこちら：<http://wrlid.bg/RNIT30rdURK>（英語）

人々と地球の持続可能な復興

気候変動や生物多様性の損失という課題に取り組むつつ、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による打撃からの持続可能な復興を進める方法に焦点を当てます。

10月15日（木）午前1時（日本時間）より

ライブの視聴、ご質問はこちら：<http://wrlid.bg/lpmE30rdURW>（英語）

人々を守り、投資する ~ 新型コロナウイルス感染症の流行下における人的資本

危機下における、強靱かつ持続可能な人的資本の構築に向けたステップを探ります。

10月16日（金）午前1時（日本時間）より

ライブの視聴、ご質問はこちら：<http://wrlid.bg/5o5630rdUS5>（英語）

デジタル・ディバイドの解消

デジタルアクセスを加速し、手頃な価格の信頼できるデジタル接続をすべての人に提供するための具体的な方法について議論します。

10月16日（金）午後11時（日本時間）より

ライブの視聴、ご質問はこちら：<http://wrlid.bg/iuul30rdUSq>（英語）

貧困撲滅のための国際デー2020 ~ 困難を乗り越える

10月7日発表の報告書「貧困と繁栄の共有」を踏まえ、新型コロナウイルス感染症危機からの強靱な回復に向けて貧困問題を検証します。

10月17日（土）午後11時（日本時間）より

ライブの視聴、ご質問はこちら：<http://wrlid.bg/Cyco30rdUSA>（英語）

セミナーのお知らせ

アフリカ大陸自由貿易地域：経済・分配効果

世界銀行モーニングセミナー（第80回）

日時：2020年10月16日（金）午前8時～午前9時

内容：7月27日に発表の新報告書「アフリカ大陸自由貿易地域：経済・分配効果」（The African Continental Free Trade Area: Economic and Distributional Effects）の首席執筆者の一人であるマリラ・マリジェフスカ世界銀行貿易・地域統合ユニット上級エコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付：<http://wrlid.bg/rCZg30rdHpm>

南アジア経済報告 (SAEF) : 敗北か破壊か? - インフォーマル性と新型コロナウイルス感染症

世界銀行モーニングセミナー (第81回)

日時: 2020年10月23日 (金) 午前8時~午前9時

内容: 10月8日発表の「南アジア経済報告 (SAEF) : 敗北か破壊か?」 (South Asia Economic Focus: Beaten or Broken? - Informality and COVID-19) の執筆を担当したシッダールタ・シャルマ世界銀行南アジア地域担当チーフエコノミスト室上級エコノミストとヴァレリエ・マーサー=ブラックマン同上級エコノミストが、同報告書の主なポイントをオンラインでご紹介します。

詳細・事前ご質問受付: <http://wrlid.bg/6CQc30re3al>

主なニュース

2020年10月7日: 貧困と繁栄の共有2020

報告書「貧困と繁栄の共有」の最新版では、世界の貧困を増大させ、その影響が将来にまで及ぶ恐れのある新型コロナウイルス感染症、武力紛争、気候変動について分析しています。新型コロナウイルス感染症がもたらした貧困への逆戻りを元に戻し、より良い世界を構築するための支援について、デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁のブログをご覧ください。

ブログ: <http://wrlid.bg/XEIs30re30q> (英語)

フィリピン: デジタル技術を活用した危機からの回復

世界銀行とフィリピン国家経済開発庁 (NEDA) が発表した報告書によると、フィリピンにおけるデジタル決済、eコマース、遠隔医療、オンライン教育などのデジタル技術の導入は、同国の新型コロナウイルス感染症による影響の緩和や、危機からの回復、貧困のない社会の実現といった目標達成の後押しとなるとしています。

プレスリリース: <http://wrlid.bg/THNL30re30r> (英語)

自然への投資を通じた経済成長

自然、自然が提供する健康な土壌、清潔で安定した水の供給、荒天からの保護などのサービスの保全是、コミュニティ、経済、そして地球上の生命にとって不可欠です。生物多様性への支援が経済成長につながる仕組みについて、ブログをご覧ください。

ブログ： <http://wrlid.bg/uXUg30re30t> (英語)

パキスタン：15年前の大地震を教訓にした耐震性の構築

2005年にパキスタンで起きたマグニチュード7.6の地震と同じ規模の地震が現在の同国で発生した場合、一般住宅だけで当時の2倍近い損害（28億ドル）が生じる可能性があります。世界銀行は、パキスタン政府による既存の公共インフラストラクチャの耐震補強、情報管理および対応能力の強化、適切な規制の施行などの耐震課題に積極的に取り組んでいます。

ブログ： <http://wrlid.bg/9hw130re30u> (英語)

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。



[世界銀行東京事務所](#)

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695

[世界銀行東京事務所フェイスブック](#)

[世界銀行東京事務所ツイッター](#)

[世界銀行東京事務所インスタグラム](#)